

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録（11月下旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所3階）、図書館などでご覧になれます。

消費増税と暮らしを守る施策
 消費増税増税 区民の暮らしを守れ
 消費増税増税 区民の暮らしを守れ
 消費増税増税 区民の暮らしを守れ

日本共産党葛飾区議会議員団
 消費増税増税 区民の暮らしを守れ
 消費増税増税 区民の暮らしを守れ
 消費増税増税 区民の暮らしを守れ

新小若地域の子供たちへの教育・子育て支援及びまちづくり
 問 新小若駅周辺に必要な用途・機能、周辺の公共施設状況など、さまざまな観点から再開発を進めるべきかと思うがどうか。
 答 当地区の都心へのアクセス利便性が非常に高い立地条件を最大限に再開発事業の進捗を注視しながら、どのような商業機能等がふさわしいのか、地域の人口や消費動向、公共サービスの分析・検討を行い、再開発の事業性確保や施設計画のハード面だけでなく、将来の街の経営の視点であるタウンマネジメントも重視をし、持続可能性を確保できる計画案となるよう、準備組合と連携しながら再開発事業を推進していく。



サマーチャレンジの様子

そのため、多数の参加につながった。

区内の公共交通事業者に対する本区の姿勢
 問 今後、本年8月6日の京成線停電事故のような事態が発生した場合、鉄道事業者とのホットラインなどで区と鉄道事業者との役割分担を明確にしておく必要があると思うがどうか。
 答 事故による不通や遅延など乗客への影響が懸念される場合の対応は、鉄道事業者の責務であるが、区としても鉄道事業者との情報連携を図り、乗客の安全確保に協力していきたいと考えている。

区内の公共交通事業者に対する本区の姿勢
 問 今後、本年8月6日の京成線停電事故のような事態が発生した場合、鉄道事業者とのホットラインなどで区と鉄道事業者との役割分担を明確にしておく必要があると思うがどうか。
 答 事故による不通や遅延など乗客への影響が懸念される場合の対応は、鉄道事業者の責務であるが、区としても鉄道事業者との情報連携を図り、乗客の安全確保に協力していきたいと考えている。

バス路線の充実
 問 循環バス導入について、どのような考えで導入しようとしているのか。
 答 区の見解と検討の進捗状況を伺う。
 問 循環バス導入について、どのような考えで導入しようとしているのか。
 答 区の見解と検討の進捗状況を伺う。

幼児教育・保育の無償化の実施
 問 認可外保育施設指導監督基準に満たない施設が経過措置で無償化の対象となっていない。1年6月の間に、区は施設にどの基準を満たさせるのか。
 答 東京都の立ち入り検査に同行し検査

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

防災士の資格取得推進
 問 防災士の資格取得費用の助成を始める必要があると思うがどうか。
 答 防災時対応ができる人材の育成の1つの手立てとして、防災士の活用は有効であり、今後、助成を検討する。

自由民主党議員団
 新たな人口政策の展開と多文化共生社会の実現
 区政を取り巻く状況
 問 全国的な人口減少が予想される中、区が今後地域の活力を維持し、持続的に発展していくための施策の展開が必要だと考えるが、区の見解を示されたい。

自由民主党議員団
 新たな人口政策の展開と多文化共生社会の実現
 区政を取り巻く状況
 問 全国的な人口減少が予想される中、区が今後地域の活力を維持し、持続的に発展していくための施策の展開が必要だと考えるが、区の見解を示されたい。

外国人区民への窓口サービス等の充実
 問 新たに導入する携帯型翻訳機について、外国人区民とのコミュニケーションツールとして十分な効果を生み出していくために、どのように効果的な活用を進めていくのか、区の見解を伺う。

外国人区民への窓口サービス等の充実
 問 新たに導入する携帯型翻訳機について、外国人区民とのコミュニケーションツールとして十分な効果を生み出していくために、どのように効果的な活用を進めていくのか、区の見解を伺う。

外国人区民への窓口サービス等の充実
 問 新たに導入する携帯型翻訳機について、外国人区民とのコミュニケーションツールとして十分な効果を生み出していくために、どのように効果的な活用を進めていくのか、区の見解を伺う。

外国人区民への窓口サービス等の充実
 問 新たに導入する携帯型翻訳機について、外国人区民とのコミュニケーションツールとして十分な効果を生み出していくために、どのように効果的な活用を進めていくのか、区の見解を伺う。

外国人区民への窓口サービス等の充実
 問 新たに導入する携帯型翻訳機について、外国人区民とのコミュニケーションツールとして十分な効果を生み出していくために、どのように効果的な活用を進めていくのか、区の見解を伺う。



携帯型翻訳機を使った窓口対応

外国人区民への窓口サービス等の充実
 問 新たに導入する携帯型翻訳機について、外国人区民とのコミュニケーションツールとして十分な効果を生み出していくために、どのように効果的な活用を進めていくのか、区の見解を伺う。

外国人区民への窓口サービス等の充実
 問 新たに導入する携帯型翻訳機について、外国人区民とのコミュニケーションツールとして十分な効果を生み出していくために、どのように効果的な活用を進めていくのか、区の見解を伺う。

外国人区民への窓口サービス等の充実
 問 新たに導入する携帯型翻訳機について、外国人区民とのコミュニケーションツールとして十分な効果を生み出していくために、どのように効果的な活用を進めていくのか、区の見解を伺う。

外国人区民への窓口サービス等の充実
 問 新たに導入する携帯型翻訳機について、外国人区民とのコミュニケーションツールとして十分な効果を生み出していくために、どのように効果的な活用を進めていくのか、区の見解を伺う。

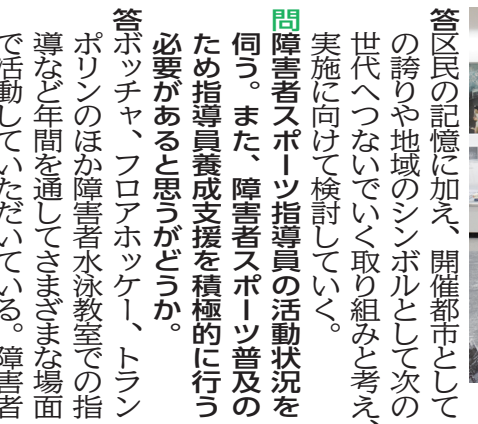
外国人区民への窓口サービス等の充実
 問 新たに導入する携帯型翻訳機について、外国人区民とのコミュニケーションツールとして十分な効果を生み出していくために、どのように効果的な活用を進めていくのか、区の見解を伺う。

外国人区民への窓口サービス等の充実
 問 新たに導入する携帯型翻訳機について、外国人区民とのコミュニケーションツールとして十分な効果を生み出していくために、どのように効果的な活用を進めていくのか、区の見解を伺う。

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録（11月下旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所3階）、図書館などでご覧になれます。

葛飾区議会公明党
 東京2020大会のまちの記憶と区民サービスのさらなる向上
 東京2020大会を契機とした取り組み
 問 大丸リリーの走行ルートとして後世に伝えるため、走行ルート沿道に「聖火リレールート」であることを表示してはどうか。
 答 区民の記憶に加え、開催都市としての誇りや地域のシンボルとしての次世代へつなげていく取り組みと考える。実施に向けて検討していく。



1964年東京オリンピックの展示

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

多文化共生
 問 生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を推進していくべきかと思うがどうか。
 答 日本語ボランティアの皆様との協力を深めて外国人区民に対する日本語学習機会を創出をさらに推進する。

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

的な執行体制の構築を目指してきた引き続き会計年度任用職員を含めた適切な人的配置や民間委託の活用により、効率的な執行体制の確保に努めていく。また、職員数の将来的な動向については、児童相談所開設や定年延長制度の動向などがあり不透明だが、適正な定数管理の下、新たな行政需要に応じた執行体制を確保していく。

※他の質問項目 処遇等の変化 など

児童相談所の設置に向けた取り組み状況

問本区が目指す児童相談所の将来像を示されたい。

答区は、これまでも子育て環境の充実を重点プロジェクトに位置付け、さまざまな事業を展開してきた。とりわけ児童虐待の対応は、子ども総合センターが中心となり関係機関と連携を図り対応してきたが、法的な介入がないことから、限界を感じていた。こうした中、平成28年度の児童福祉法改正により本区でも令和5年度の児童相談所開設を目標に検討を進めており、これまでの支援の限界を突破し、迅速な対応により虐待の早期発見や重篤化の防止につなげていく。

※他の質問項目 職員の確保と育成 など

防犯カメラ

問防犯カメラの設置と活用は今後どのように取り組んでいくのか、区の見解を示されたい。

答防犯カメラについては、平成30年度までに548台設置しており、今年度の406台と合わせ計954台が地域との協働の下に設置となる予定である。今後は、警察と連携して新たに設置が必要となる箇所も分析していきたいと考えている。今後も地域団体と十分協議をしながら、効果的・効率的な設置について検討を進め、安全・安心な街づくりの実現に一層取り組んでいく。

※他の質問項目 過去4年間の街頭防犯カメラの設置台数の実績 など

幼児教育・保育の無償化

問食料費の無償化が真に児童の利益につながるよう、施設における給食の充実などに取り組むべきと考えるが、区の見解を示されたい。

答国では実質徴収としている給食に要する食料費を、本区では従前から実質無料になっていた認可保育所はもとより、私立幼稚園や認可外保育施設まで対象範囲を広げ、区の負担とした。この食料費の無償化を通して、単に保護者負担を軽減するのではなく、栄養バランスの取れた給食の提供はもちろんのこと、食育の観点も取り入れていきたいと考えている。このような取り組みの強化を各事業者と協働し、真に児童の利益につながるよう努めていく。

※他の質問項目 幼児教育・保育事業者への周知 など

金町地域の街づくり

問理科大学通りの歩行空間の確保は北口の街づくりが進捗する中、一刻の猶予も許されない状況にあり、早期の都市計画決定を行うべきと考えるが、区の見解を伺う。

答理科大学通りの歩行空間の確保は課題であると認識している。今後、東京理科大学の新校舎建設などが予定されており、利用者がますます増加することが予測される。理科大学通りは、現在都市計画手続きを進めている東金町二丁目西地区の地区計画において、将来拡充を図る箇所として位置付けており、拡張整備については令和3年度の都市計画決定を目指して関係機関と協議を進めている。今後も地権者の方々と引き続き意見交換を行い、積極的に進めていく。

※他の質問項目 保留床活用策 など

住民に寄り添ったまちづくりと安心でおいしい給食の提供を

金町駅周辺のまちづくり

問JR金町駅の駅舎、特に朝夕の改札付近の混雑は激しくなり、喫緊の課題である。6月のJR東日本社長との面談の際には区から要望書を出しているが、感触はどのようなものだったのか。具体的に混雑する改札口の改良や南北自由通路に関しては話になかったのか。

答6月17日にJR東日本の社長、副社長に会い、駅舎改良などを要望し、意見交換を行った。副社長から北口売店のところに新たな改札を設置する案が紹介されたが、現状では構造的に難しいため、相談させてほしいとの話があった。今後も要望活動を継続するとともに、利便性向上に向けて取り組みを進めていく。

※他の質問項目 準備組合との調整状況 など

学校給食

問食品ロスが社会問題となっている中、残菜の抑制について、現在、各学校任せになっていると思うが、教育委員会としても取り組むべきと思うが、区の見解を伺う。

答食品ロスの削減に向けた対応は大切なものと認識しており、学校管理職、栄養士、委託事業者と連携し、残菜が減る取り組みを検討していきたいと考えている。

問区では学校給食を直営から徐々に民間委託に切り替えているが、委託が拡大するにつれ、業者数も増えて質の低下が懸念される。教育委員会はどのようにして給食の質を保ち、またチェックしているのか。

答委託事業者に対し、年3回、衛生管理、調理技術などの確認を行うとともに学期末には各小学校からの評価に基づき、その結果を委託事業者事務連絡会などで提示している。また、業務に問題が見受けられた場合などは、速やかに委託事業者と改善策を

話し合っているところであり、今後この取り組みを行いながら、質の低下が起らないようにしていく。



中学校の給食の様子

※他の質問項目 業者選定のプロセス、ザル方式における項目追加 など

学校改築

問学校の改築、長寿命化の今後の方向性について、教育委員会の策定した葛飾区学校施設長寿命化計画では、今後20年間で案1では26校の改築、36校の改修に着手、案2では39校の改築、18校の改修に着手するとしているが、現時点での考えを聞く。

答学校改築については、現在進めている6校のほか、昨年9月に選定した次期改築校7校の実施を予定している。その後の改築校は、社会状況等を考慮しながら選定し、年1、2校の改築を進めていきたいと考えている。一方、長寿命化改修は、本計画を踏まえ、改築校以外を対象として学習環境、学校生活の機能向上に関する改修をできる限り多くの学校で実施していきたいと考えており、具体的な進め方については今後検討していく。

※他の質問項目 東金町小学校改築の入札不調・再入札 など

新小岩公園

問本区が現在検討している新小岩公園再整備基本構想は、7月5日の説明会で区側から「どのくらい高台空間が必要か皆さんの意見を聞いて決めたい」旨の発言があったが、高台化

を前提に検討しているのか。

答防災機能強化、公園の魅力アップなどの観点から検討を行っている。都市計画マスタープランの水害における安全まちづくりの方針では、新小岩公園などを高台化による避難場所に位置付けており、高台化を再整備の前提として考えている。

※他の質問項目 災害時の高台活用 など

無所属 (※1)

待機児童の解消は過剰な施設整備を止め、独自の工夫をすべき

問今年度の年齢ごとの待機児童数と拡大する定員数を伺う。

答待機児童数54名の年齢別内訳は、0歳児8名、1歳児32名、2歳児14名となっている。定員は当初予算において、0歳児65名、1歳児97名、2歳児97名、3歳児98名、4歳児98名、5歳児98名、合計で553名拡大する予定で、さらに、補正予算で合計126名の定員増を図る。

問待機児童解消のため協力してきた保育園運営法人の経営についてどう展望し、対応していくのか伺う。

答待機児童解消に大きく貢献してきた民間保育事業者が将来にわたって安定した経営を望めることは大切である。引き続き協働体制を維持していきたいと考えている。今後保育の需給バランスが大きく崩れた場合には、公立施設の需給調整などニーズに対応した取り組みを考えていく。

問施設整備一本やりの待機児童解消の方針を早急に改めるべきだと思っどうか。

答待機児童解消を図るため、定員構成の調整や地域の偏りを解消するための施設整備を推進しているが、ソフト的な取り組みとして定員の弾力的な運用やベビーシッター利用支援事業などの施策も合わせて行っている。今後もさまざまな手法を駆使し、利用しやすい保育環境を実現していく。

※他の質問項目 保育士確保 など

「保育の質」確保

問空き定員が恒常化している公立保育園において大胆に定員を見直すことはできないか。できないとすればその理由は何か。

答2歳児から3歳児にかけて空きがあるが、家庭的保育事業所等の卒園児を受け入れる連携園としての役割があるため、現在の定員差を保つ必要がある。地域の子どもが入園から卒園まで安心して通える体制を整える必要があることから、定員の変更は難しいと考える。

問公立保育園の民営化を直ちに進め、新たな子育てニーズに必要な財源確保を図るなどの工夫を考へるべきではないかと思うがどうか。

答子育て支援施設の整備方針に基づき、公立保育園の更新の時期に合わせて民間事業者による整備、運営に移行していく。公設民営保育園の民営化についても、保護者の理解を得ながら、計画的に検討を進めていく。

問継続して質の高い保育を提供し続けるためには、区独自の補助制度を構築するなどにより、大胆に区の経費を投入すべきと思うがどうか。

答保育士配置の充実と事務職員配置の2つの課題について、10月からの無償化を契機に、区独自の加算として見直しを図り、保育の質の向上につなげていく。



保育園の様子

颯新かつしか